

(参考資料)

【NIRS テクノフェア 2012 のご案内】

1) 展示会サブテーマ

『 放射線科学の新たな展開のために 』

2) 日 時：平成 24 年 12 月 6 日 (木) 13:30~16:30

3) 場 所：放射線医学総合研究所 講堂
(千葉県稲毛区穴川 4-9-1)

4) 展示者：(独)放射線医学総合研究所、千葉大学、千葉工業大学、
京都大学原子炉実験所、(財)日本分析センター

5) 展示数：25 テーマ

詳細は

<http://www.nirs.go.jp/information/event/2012/techno2012/index.html>
で御確認いただけます。

※その他、一般来場者向けに放医研の施設・装置（緊急被ばく医療施設、重粒子線がん治療装置、PIXE・マイクロビーム施設、分子イメージング関連施設）の見学ツアーも行います

NIRS テクノフェア 2012 登録一覧

(昨年の東電福島原発事故を踏まえた放射線防護に関する研究開発)

NO	展示内容	代表者
1	セシウムやストロンチウムを高速で除去する吸着繊維の開発	斎藤 恭一 (千葉大学大学院 工学研究科 共生応用化学コース)
2	環境水中放射性セシウムを選択性吸着ディスクを用いたモニタリング方法に関する研究	亀田 豊 (千葉工業大学)
3	3 機関共同事業の食品関連事業者向け放射性物質測定の実務者研修会・技能試験・個人認証	太田 智子 (財)日本分析センター)
4	放射線蛍光プラスチックの性能評価	山田 辰矢 (京都大学原子炉実験所)
5	放射線蛍光素子の特性	Philip Nguyen (京都大学原子炉実験所)
6	新しい放射線蛍光素子の開発	横塚 貴之 (京都大学原子炉実験所)
7	ホットスポット検出器の開発	白川 芳幸 (独)放射線医学総合研究所 研究基盤センター 研究基盤技術部)
8	ラジプローブシステム	宮後 法博 (独)放射線医学総合研究所 研究基盤センター 安全・施設部 安全計画課)
9	緊急被ばく医療体制の強化の新型車両 (3台)	宮後 法博 (独)放射線医学総合研究所 研究基盤センター 安全・施設部 安全計画課)

(放射線の医科学利用とその周辺技術に関する研究開発)

NO	展示内容	代表者
10	携帯無線端末による体内植込み型心臓ペースメーカーに対する EMI 評価	齊藤 一幸 (千葉大学 フロンティアメディカル工学研究開発センター)
11	MRI を用いた生体組織粘弾性分布測定法 (MR Elastography) の開発	菅 幹生 (千葉大学)
12	術中画像診断装置を活用した精密手術誘導技術	中村 亮一 (千葉大学大学院 工学研究科 人工システム科学専攻 メディカルシステムコース)
13	超音波による肝臓およびリンパ節の組織性状診断法	山口 匡 (千葉大学 フロンティアメディカル工学研究開発センター)
14	宇宙や放射線治療場における放射線計測技術の開発研究	小平 聡 (独)放射線医学総合研究所 研究基盤センター 研究基盤技術部 放射線計測

		技術開発課)
15	低 LET 陽子線による汎用照射場	北村 尚 ((独)放射線医学総合研究所 研究基盤センター 研究基盤技術部 放射線計測技術開発課)
16	放医研における動物実験のサポート体制	鬼頭 靖司 ((独)放射線医学総合研究所 研究基盤センター 研究基盤技術部 生物研究推進課)
17	網羅的遺伝子発現プロフィール (HiCEP) 法におけるデータベースおよび自動反応装置開発	荒木 良子 ((独)放射線医学総合研究所 研究基盤センター 研究基盤技術部 生物研究推進課 遺伝子・細胞情報研究室)
18	HIMAC facility	佐藤 眞二 ((独)放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター 物理工学部)
19	NIRS サイクロトロン利用および改良開発	北條 悟 ((独)放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター 物理工学部)
20	生きたまま、がん内部の血管を見る ～MRI 造影用の高感度ナノ粒子「ガドリゾーム」による高解像度がん血管イメージング	青木 伊知男 ((独)放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター 分子病態イメージング研究プログラム 複合分子イメージング研究チーム)
21	TSP0-PET による脂肪肝画像診断法の開発及び発生機序の解明に関する研究	謝 琳 ((独)放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター 分子認識研究プログラム 分子プローブ開発チーム)
22	金属核種の遠隔製造用ターゲットボックスの開発	鈴木 寿 ((独)放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター 分子認識研究プログラム PET 薬剤製造開発チーム)
23	『抗不安薬のスクリーニング方法及び効果評価法』	大西 新 ((独)放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター分子神経イメージング研究プログラム 神経情報チーム)
24	細胞核極局所への DNA 損傷誘導と修復プロセスのライブセルイメージングと応用 ーヒト DNA 修復蛋白質が損傷 DNA を修復するために損傷部に集積する様子ー	小池 学 ((独)放射線医学総合研究所 放射線防護研究センターリスク低減化研究プログラム)
25	実験動物メダカの基盤的技術	丸山 耕一 ((独)放射線医学総合研究所 福島復興支援本部 環境動態・影響プロジェクト)